

地域が 教えてく れたこと

核家族化や高齢化、少子化が進むなか、新しい住宅地や郊外型商店街の広がりなどもあって、私たちのまちの様子や生活環境は大きく変わってきています。それに伴い、地域に住む人同士のつながりが薄くなり、地域共同体としての機能や支え合いの住民意識が希薄になってきたのも事実です。

ひと昔前は、親しい近所づきあいのなかで、お互いに支え合って生活しているという意識が自然に身に付く関係がありました。子どもがお年寄りをいたわったり、大人が近所の子どもたちと遊んだり面倒をみたり、地域のなかに、みんなが安心して暮らせる仕組みがあったと言えます。

みんながお互いに安心して暮らせるようにしていく地域づくり。ふれあいのある地域をつくるために、私たちが取り組める活動にはどんなものがあるでしょうか。そのアプローチの仕方

みんなの 支えが ちからに

はさまざまです。福祉的なこと、教育的なこと。少子高齢社会を背景に、お年寄りや子どもたち向けの活動や、健康、スポーツにかかわる活動など、いろいろあり方が見えてきます。個人でできるボランティア活動なども、地域づくりの一端を担っていると言えるでしょう。

人と人がいろいろな関わりを持っていくなかには、人に頼ることだけではなく、自分で自立した気持ちを持つことも必要となります。いわば、「持ちつ持たれつ」の関係です。

自分が住む地域、そこに住む人たちに、優しい目を向けてみませんか。たとえ小さなことでも、ふれあいのきっかけは、たくさん見つかるはず。道で会っても知らんぷりというような、寂しいまちにはしたくありません。

人と人のあたたかい関係、地域社会が持つ大きな「ちから」を、二十一世紀のこれから大切にしていきたいものです。

コミュニティのちからで 広がるふれあいの輪

みなさんが住む地域の「ふれあい」をちょっと拝見。人と人、心と心の交流に、決まったかたちはありませんね！

会話に花が咲く ちょっとした心づかい

● 外旭川地区社会福祉協議会

外 旭川地区社会福祉協議会では、ひとり暮らしのお年寄りや高齢者世帯に年四回の友愛訪問を行い、安否確認をしながら、季節の花と一緒に届けています。

十一月八日にお花を受け取った石川春江さん(78歳)は、「いつも優しく声を掛けてくれるのでありがたい。ひとり暮らしだけど、おかげで寂しくありません」とニコニコ。声かけただけとんだか味気ない訪問も、お花を添えるだけで会話にも花が咲きます。地域の交流には、お互いを明るく気持ちにするちょっとした心づかいは必要ですね。



「いつもありがとう」と石川さん(右)

健康には、笑顔で 集える仲間が大事

● 新屋地区地域保健推進員

新 屋地区では各町内にある地域保健推進員が、健康講座や勉強会などを開き、地域住民の健康づくりに一役買っています。

十一月五日、西部公民館で行われた「ふれあい元気教室」では、五人の保健推進員が進行をサポート。司会役を務め、参加者の間に入り、腰痛予防運動のお手伝いなどをしました。

保健推進員顧問の高野トヨさんは、「ふれあい元気教室の参加者の半分はひとり暮らしの高齢者。健康のためには、こうして仲間が集い、笑って話せる時間が貴重です」と話します。

元気で長生きするために、まず仲間づくり。保健推進員が上手に雰囲気づくりをしてくれます。



まさに、笑顔の絶えない元気な教室です

児童館での過ごし方 みんなで考えよう！

外旭川児童育成クラブ



遊びだけでなく、しつけもしっかり教えてます

外 旭川児童育成クラブ「こまち」のみなさんは、外旭川児童館で月に一、二回、小学生の子どもたちと一緒に、工作や読み聞かせなどを楽しんでいます。

児童育成クラブのメンバーは、中高年のかたを中心に現在十八人。児童館で毎回一時間半ほど、約八十人の子どもたちの遊び相手をしています。

「学校とは違う顔を見せ、のびのびと児童館で遊ぶ子どもたちを見てみると楽しい」と、児童育成クラブの櫻井トミ代表。学校週五日制をひとつのきっかけに、児童館での遊び方を考えています。一年を通していろいろなプログラムを組めば子どもたちが喜ぶかを、大人の考えではなく、子どもたちの意見を聴きながら、私たちも学んでいます」と話してくれました。

育児サークルのネット ワークづくりにひと役

ちびっこランドOB会
佐藤真紀子さん・澤木智子さん



昨 年、(助)児童育成協会「こどもの城」の助成を受け、市内にある三十六の育児サークルが参加した「合同イベントちびっこランド」の運営に携わりました。

それまでサークル同士の交流がなかったため、このイベントにより改めてサークルのネットワーク化が必要だと実感。今年度も助成を受けることができたので、サークルの代表者が交流する機会づくりを企画しました。

子育て情報の交換や悩みの共有ができれば、サークル運営もスムーズになると考え、市内を四地区に分け、各地区でイベントを企画・運営していただきました。代表者のつながりを強くすることで、サークルのネットワーク化が進むと思います。活動が活発になる分、代表者の負担が増えますが、私たちの考え

素直な子どもたちとのふれあい、楽しいですよ！

活動に共感してくれる仲間が増えれば、その負担も軽減することができるでしょう。

ちびっこランドの活動により、育児サークルのネットワークを市内全体に広げ、このサークルの輪が「福祉」という大きな輪の中に入れるようにしていきたいです。

地域福祉 かよいあう ぬくもり



西・南部地区の育児サークル合同イベントで